

## 結果

	使用前体温	5分	10分	15分	20分	
クールネック (首に巻くタイプ)	36.4	35.6	35.8	36.1	35.9	(表面温度)体温で測定不可
キャッチクール (保冷剤)	36.7	23.8	19	14.3	15.7	
滞れたタオル	36.5	35.9	35.9	35.9	35.8	
氷のう	36.2	16.5	13.2	19.1	14	
冷えビタシート	35.8	35.2	35.4	35.8		

(Par / Par / Par

氷のうは、途中で嫌になるほど冷たいが、少しつけて外すならちょうどいい 冷えピタシートは、少し冷たいのが持続される



# まとめ・感想

僕はこの自由研究で調べていくうちに、熱中症の怖さについて 実感しました。最初は、熱中症はかかってもすぐに治るものだと 思っていました。しかし、熱中症は最悪の場合死亡すると知っ てなめてはいけない病気だと思いました。自分の気になっていた 熱中症警戒アラートと暑さ指数のことも知れてよかったです。実 験で学んだことや、調べて分かったことをこれからの生活に生か していきたいです。

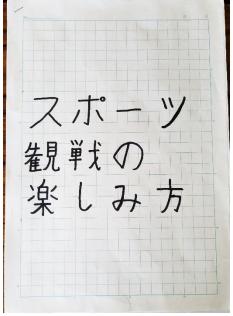
### 自由研究作品カード 令和5年度

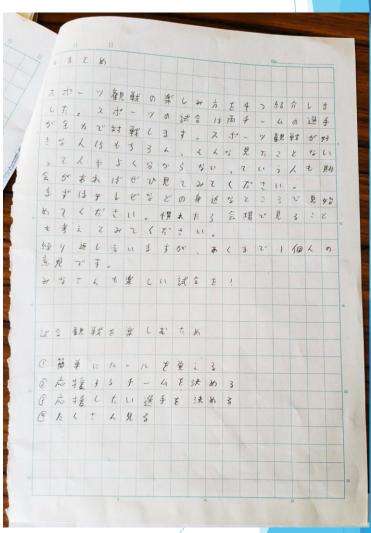
1年

研究分野(教科)	个品种 体育
研究テーマ	スナーツを見ずまの楽しみ方
研究テーマ設定の理由	後はスポーツ観戦が歩きされ、いろいろな人にスポーツ観挙を

スポーツを見挙すり楽しばにはといするかをもつまとめました。自分もりに楽しまたままとらて 実践できるかいとな解説できました。

実ままできるうかととなりな意思できました。 でから全までわずつます(く解意思しているので、見分にも分かりやすくなっていると思います。 スポーツを見事がが対きなんか、おきり見たことかい人もこれから見るためになると思うので 的ではよくできたと感じました。





年

作育 研究分野(教科) e-Motors ports の技術行向上と 研究テーマ 事故のない社会の実現に向けて 今一番自分の中で楽し人でいることであり、 研究テーマ設定の理由 事古なのない社会の実現し、もつながると思ったから

研究成果解説 プレーキの工場所と停止日寺間の変化が、できるだけ速くコナを ぬける方法ないを調がて、車というのはおもしるいと感じました。 技術ラだけではなく、車のふたんないを考えて走ることかできる ようになりました。 時間があれば、昔だといたカートももう一度やりたいと 思います。

## e-Motorsports の技術向上と事故のない社会の実現に向けて 秋田大学教育文化学部附属中学校 1年

かでエンターアイメン)性も初っている。しかしとおだけではなくホータースポーツには重要な控制がある。
私たちが開発券でいる市はどんどんと技術が発達し、乗りやする情能になっていまい。され、この数据にはキースポーツが関いている。ボータースポーツではかりでいるが、この数据にはキースポーツが関いている。ボータースポーツではからでは関いていまい、は一般があるとは、一般が関いてはまかが、自然があるとは、一般が関いてはまかが、自然があるとは、一般が関いてはまから、中心ようのな動をスタボーツである。ともある。そのような動をスタボーツである。そのなりなりに対している。ドロークのと対している。ボータースパーでもよう。交合を関する事務を与なりなけないがあった。そのなりなりにはいる事態と解している。ともある。まちには、ボータースポープにはいる事態と解しまから、一般が表しましている。マータースポープという例表で観り下のメイーはいかに運動のでするか。そんなプロル関やな事態に指す着等。関係さることでは実際のである。または、ボータースポープという例表で観り下のメイーはいかに運動のでするか、そんなプロル関ルを重要に指する事と、関係できることでは実際の運動を表態に対ってというなど、大のスタースの場では実際のを実施しなくても、アンダースの大のアークは、アンダーの大のアークは、アンダーの大のアークに対しなってきた。

実験が近り ベスポープの夕間大会「BRIDGESTONE GT タイムトライテル UI7 by TOYOTA GAZOO Racing 2023」の第2ラウンドでは、リアルドライビングシミュレーターを用いて富士スピードウエイをトヨタ スープラで走るタイムトライアルが行われている。 オープラで走るタイムトライアルが行われている。 オープランド・アラスイをはく走る上で最も重要なコーナーの1つである第1コーナーにおいて最 浦なコーナリング方法を調査した。

モータースポーフでコーナーを曲がる際に速さの違いが生じるポイントの1つはブレーキングである。 つまり、コナーに出来する時に、いっと思いるない。 なっというない。 レーキングは、マシンのは、 皮を表とすだけでなく、タイヤの温度やグリップ、サベルシンシックの動きなどにも影響する。 ブレーキン グを尽くかけすざると、コナナーに温度が強くなりすぎてしまり、湿に、ブレーキングを覆くかけすぎ ると、減速できてエコナーをうまく回れない。 また、マシンの速度を落とす方法として、ブレーキング以外にギアを下げることによってエンジンブ

レーキを利用することも重要である。ギアとは資産の大きさのことで、資産を大きくするとエンゾンの 回転能化上がもたのエンジンに内容がから回転をが高してくる。それによってサイヤの回転型が下端 ケンジの連携が下がる。また、機能があると関連から指するとのには国力が必要がより、最かだりない はより無力が上がるのでコーナーからのひと上がりでは大力な需要を使った力が回流しやすい。 そこで、プレーをかけ始めるがインションが、100mm 年間、70mm 年間、70mm 年間、アレーマンダルに使う重要の大きっ様でファンボーンである。 プレーマンダルに使う重要の大きっ様での大きさく様でのナンバーはからいほうが構造を大きから、なう 機能調度に、こと関心からなどがあるがある。

富士 T1 RTA	150m 手前でプレーキ	175m 手前でプレーキ	200m 手前でプレーキ
ギア3まで下げる	28,527	24.795	24.064
ギア2まで下げる	29.539	25.148	24.191
ギア1まで下げる	27.963	25.81	24.06

上記のようにコーナーの 200m 手前でプレーキングを開始し、ギアを 1 連まで下げるコーナリングが 毛道かった。だが、190m 手前でプレーを発揮した時、ギアを下げた力が確かにタイムは取いが、オーバーフンが発生し、水をカタイヤがメリップし安全な走りとはいえなかった。また、175m 手前でブレーキを開始した記録を見るとギアを下げていくほど強くなることが行かった。

▼新①

この調査を行う向はかまでの経験から 200m 手術あたちでブレーキッグを開始し、ギアは3まで下げ
コーナリングしていたが、ギアを1まで下げた方が平均減ししては違いタイムが出ることが発見され
を、緩延だけでなくしゃからした調査をすることでより思想の必要してつながより開始が多えられた。
人がし、ギアレケーキッグがイントが見せなくのイングのです。
まで行ったが確々に下げるからか。また、コーナーを強く組まるからは一気に日標ギアまで下げるか
まで行ったが確々に下げるからからある。また、コーナーを強く組まるからはたくらメヤケを下げるか
対ればいいというかけでなく、減速が平めらすぎてあり上めりが遅れ。ダイムは高もるということも
分かった。今回はメーフプロファルに近い実験を行ったが、単によって走り方が変わったり、ギアの下げ
おも変わったからまととそ、実験を得る風速、コースのコーナーの傾斜、タイヤの種類をごでも変わって
くると思うので、この調査をしていまたいと思う。

無知 先柱との実験で遊く走る走り方はよくわかったが果たしてこの車が本当にギアを下げることで達度を 孫とす効果があるのか、数字で示したいと思ったためもう一つの実験を行うことにした。

研究分野(教科)	体育科
研究テーマ	用券っために れるの血をごれる
研究テーマ設定の理由	在中記録を突破があめに、この構成を言極性的。
	4+53 - V-10+53+4 FE+4

研究成果解説 練習×ニュード練習するんなどを記録したまた、体重するの人のユンラルションを書いて、動の水流を見えるようにした。たらのときもラックなど他の人のことを見てどう思ったかいみんなて協加て活動するときには、どうすればいいかかどをまてめた。母標があること、こつ努力を積み返ねることの大事さをもう一度学ることとかできたと思います。

## 7月24日

- 練習
- ジョグを多めに行い、スパイクでの流しもした
- 食事
- 3食をいつも通りの時間帯にとり、米をしっかりとるようにした。また、補食もとった。
- その他
- 少しだけストレッチをして早く寝た。
- ・体重は46.0kgだった。

## 7月26日

- 練習
- 通信に出る人の調整として400と200をレースペースで走る。
- ・その他の人たちは4キロを先頭は1分36秒ペースでのペース走。
- ・スパイクについて
- 基本的にトラックで走るときは、スパイクをはいて流しやメイン練習を行います。今、自分が履いている靴はAsicsの「HYPEY LD」というスパイクです。
- その他
- ・ストレッチをして寝た。体重は46.0kgだった。

## 8月23日

練習

家の付近を駅右のときより、少し違いべらいのペースで、集中して走った その後に、4本流しをした、駅右のメンバーにおったので、どの区間に なっても自信をもって走れるようにこれからも糸東習していきたい。 その他

体重は,45.8kgだった。

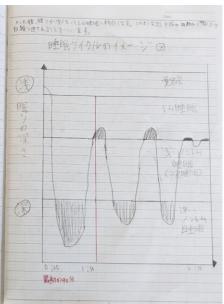
## 終わり

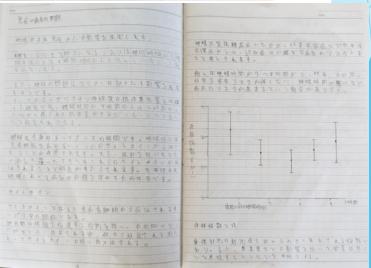
県大会で負けてはってから勝っためていくよの努力をしてきた。 実際に勝負するのは、県林寺だけれどもそこまでも努力を 続けたい、部治では、先輩とけき琢磨して、クラッツームでもたくさん の練習して今までより石曜実に強くなりました。いかし、僕の即無は 生中の参加標準を決ることです。今は、スタートをきりましたが、ゴール にはほど違いです。最後に、これから僕はもっと強くなります。

年

10リコーない電子機を夜に井空よることが、快等方法







令和5年度 秋大附中自由研究 保健体育1年

1年

研究分野(教科)	保健体育
研究テーマ	ソーンに入る方法
研究テーマ設定の理由	試合に勝っために

研究成果解説

また実際祭には出来ていないけど、解説動画では、実際にバスケのシュートで 実行する前は正功率40~50%からいだったけれど、実行した後は70~90% くいらいで、20~40%上がっていることかがかります。 なので次の試合の時に実戦して集中して戦いたいと思いました。

年中(7山田芽休選手のようになりたい!

Zone(ゾーン)というものを知っていますか?

ゾーンとは・精神的にリラックスしている

- 肉体的にリラックスしている
- ・現在に集中している感覚がある

という 3 つの条件がそろった時の極限の集中力のことを言 います。

スポーツをやっている人なら勝手に体が動いていて最高の パフォーマンスをすることができたが、その時の記憶があん まりないということも1度はあるはず。

今回はそんなゾーンにはいる方法について説明します。 ゾーンにはいるためには 4 つの工程をするだけでいいので

- ①自ら極限の緊張状態にはいること これは試合の時など緊張する場面はあると思うのでこの 条件は達成しやすいと思います。
- ②5 秒間鼻で息を吸って 5 秒間口で息を吐くのと同時にへ その下ぐらいの丹田っていうところに力を入れ続けた状

1年

研究分野(教科)	体育
研究テーマ	テニスの歴史と見と"ころ
研究テーマ設定の理由	ソフトテニス書をに入っているので、テニスのことをもっと知りたいを思

研究成果解説 〒二人の歴史や見と"ころしついて調へ"て紹介 しまして。リフトテニスをりに所属でる部員として、テニスの歴史が見と"ころ についてくわしくなれたことが特しいてです。

デニスタテレビ"でも気軽に見ることか"で"きるので"、この研究か"でくてんの 人に届き、みなさんに楽しくテニスを観戦してほしいと思いまして。

テニスの基本の1つであるサーブ。ボールが決 められて緑の外側に入るとフォルト」となり、それが分かれてファレイするケースが一般的です。 2回続くと「タウ」いフォルト」となり失点となります。 そんなサーブですが、決められた線の円側 ギリキ"リに打っなど、取りつ"らいサーフ"を決め、 相手が打ち変せずにそのまま得点してり、取りずら いにも関わらず相手が打ち変してきたりなどの しへいれの高いプロイ、か見られるとすべく盛り上が ろので、見と"ころとして紹介しました。

# 3.テニアの見と"=3

## (2) 51) -

ダブルスでは、選手が前衛を後衛」に

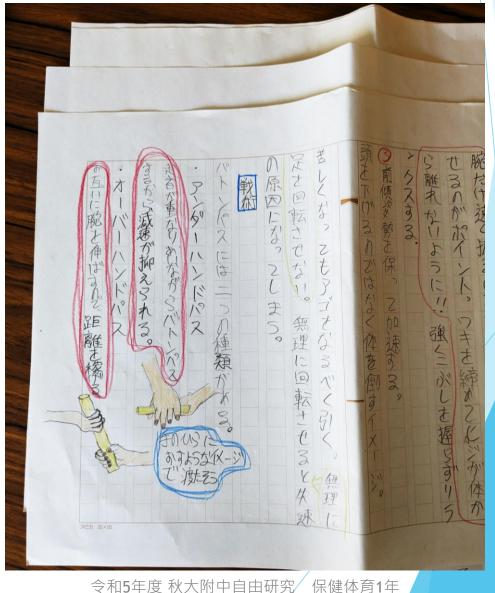
後衛は、かたがい相手の前衛にボレーをさせない ようにしつつ相手の後衛を思っように走らせる ラリー、も見どころの1つでと思います。

前衛に取られないように高いポールを打ったり、相 チからきたボールを走りながら打ち乗したり 後衛行とてもたくさんのスキルが、必要な役害リた と感じました。



保健体育1年 令和5年度 秋大附中自由研究/

年 体育 研究分野(教科) に月巻っためのコン 研究テ 研究テーマ設定の理由 して何回もわったか 研究成果解説 4×100尺で名走者に向いている人をコリカラまとれた。一走者に向いている人はスタートグッシュに長けていて、流れとつくることができる人。二走者はスピードの絶対値が高いく長い延修し、アスピードを維持できる人。三走者はスピードの絶対値が高く、直線の荒意り合いに強い人



令和5年度 秋大附中自由研究 保健体育1年

(年

研究分野(教科)	体育
研究テーマ	日本男子バレーナンルはなせる金
研究テーマ設定の理由	バレーボールを強っているから

研究成果解説 日本のバレーボールの外色は海外の選手に比べて10とかほと違うことも例くある。その中でも戦いるをエスレてスパイクのときのテクニックをかやえてらを決めている。レンーブも世界でもトップレベルに良い。その安定したレンーブにより良いトスを上げれる。それが日本が海外のイ・ムと教うために別に付けた技術を、学校、方である。

